

- 04/16・日中外装会談 (15日東京) 首脳往来で一致 来月の李首相来日調整
年内の安倍首相訪中、その後の習近平氏来日も検討
- ・米、対ロ追加制裁へ シリア問題 アサド氏、攻撃は「侵略」
 - ・中南米に背を向ける米 米州首脳会議にトランプ氏不在 中ロマネーじわり浸透
- 04/17・日中経済対話 (16日東京) 貿易戦争回避で一致 RCEPの交渉加速
RCEP (アールセップ) アジア地域包括的経済連携 日中韓FTAも
- ・中国6.8%成長横ばい (1-3月) 金融監督強化で投資や不動産低迷
消費は底堅く (前年同期比9.8%増) 好調輸出 (14%増)、対米摩擦に懸念
- 04/18・日米首脳会談 (フロリダ) 北朝鮮非核化へ圧力維持 米大統領「拉致を提起」
トランプ氏「TPPより2国間協議」とツイッター
- ・南北平和協定へ協議 韓国高官、首脳会談で意向
 - ・中国、車の外資規制撤廃 22年に、市場開放アピール 再編で競争力高める
 - ・輸出10年ぶり高水準 昨年度79兆円、過去2番目 貿易黒字2年連続 < 1 >
アジア向け13%増の43兆円 中国向けは18%増 貿易黒字は38%減、原油高で
- 04/19・日米首脳会談 米、2国間協定に意欲 鉄・アルミ輸入制限除外せず < 2 >
通商協議隔たり鮮明 安倍首相「最善はTPP」 トランプ氏「2国間が良い」
- ・ポンペオCIA長官、金正恩氏と会談 (3月末) 米朝交渉、情報機関が主導
トランプ氏「いい関係築いた」 外交当局 (国務省など) 介せずリスクも
 - ・対中輸出が米向け逆転 昨年度6年ぶり 先端投資拡大で需要 < 3 >
 - ・訪日消費17%増の1兆円超え 1~3月、1人あたりは横ばい
- 04/20・貿易、米国第一の風圧 トランプ氏FTA交渉迫る 牛肉・自動車標的に < 4 >
為替言及なく市場安堵 CIA長官と金正恩氏会談で地政学リスク和らぐ 円下落、株続伸
- ・消費者物価3月0.9%上昇 電気代 (5.2%) 宅配料 (12%) 影響
 - ・中韓、南米とFTAへ動く メルコスル4ヵ国2.6億人市場 米保護主義で接近
ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイ、GDP合計2.5兆ドル、ASEANに匹敵
- 04/21・北朝鮮「核実験を中止」正恩氏「兵器化を完了」ICBM発射不要 < 5 >
実験場廃棄も表明 経済重視で内部固め トランプ氏「大きな前進」 拘束の米国人解放へ
- ・G20財務相・中央銀行総裁会議 (19日ワシントン) 反保護主義、米に響かず
貿易摩擦悪化でも議論低調 共同声明も見送りへ
 - ・原油3年半ぶり高値圏 1バレル=70ドルに迫る 協調減産で在庫減 < 6 >
- 04/22・G20閉幕 同時成長に米中摩擦が影 過剰債務にも警鐘

<1>

2017年度の国・地域別の貿易収支

単位：億円、カッコ内は前の年度比増減率%、▲は減少または赤字、アジアには中国含む。差引額は四捨五入の関係で一致しない場合がある

	輸出額	輸入額	差引額
総額	792,219 (10.8)	767,660 (13.6)	24,559 (▲38.2)
米国	151,819 (7.5)	81,828 (9.1)	69,990 (5.7)
E U	88,608 (11.0)	90,435 (11.4)	▲1,827 (33.2)
アジア	434,485 (13.1)	375,928 (12.2)	58,557 (▲20.3)
中国	151,871 (18.3)	185,520 (8.8)	▲33,649 (▲30.2)
中東	23,932 (▲4.4)	84,442 (18.1)	▲60,511 (30.2)

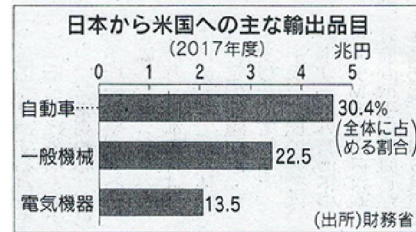
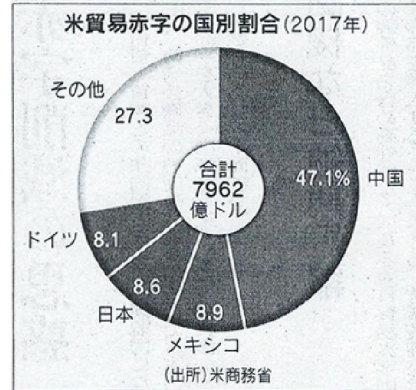
<2>

- 日米首脳会談のポイント
- 今後の北朝鮮問題への対応で両国の方針を綿密に擦り合わせ
 - 北朝鮮による核・弾道ミサイルの完全かつ検証可能で不可逆的な方法での廃棄をめざす方針を確認
 - 北朝鮮への最大限の圧力を維持
 - 米朝首脳会談でトランプ氏が拉致問題を提起
 - トランプ氏は「日本のために最善となるようベストを尽くす」
 - シリア情勢で、首相は化学兵器の拡散と使用は絶対許さないと米英仏の決意を支持
 - 強固な日米同盟のもと、地域と国際社会の平和と安定に向けて連携

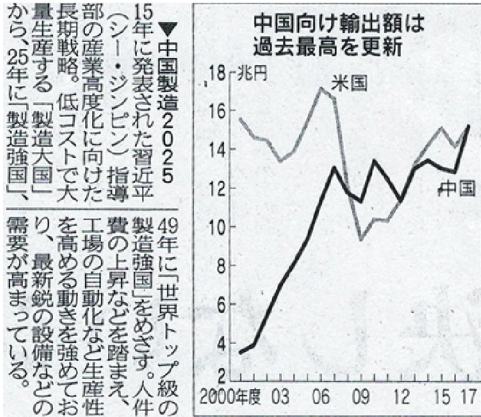
<4>

通商をめぐる日米の主張

分野	日米の主張
枠組み	TPPが日米両国にとって最善。日米FTAは念頭にない 2国間協定が望ましい
鉄鋼・アルミ	米の安保に悪影響を与えることはない。関税上げの除外を 新たな貿易交渉に合意しない限り除外しない
自動車	関税はゼロ、非関税障壁も存在しない 貿易障壁があり、あまり多くの製品を輸出していない
農産品	牛肉やコメなどで、TPPを超える水準の受け入れは困難 一段の市場開放を
知的財産	中国にもWTOルールのもとで対処すべき 中国による侵害は深刻、制裁措置は正当



<3>



<5>

- 北朝鮮の決定骨子
- 一、核実験場を廃棄
 - 一、核実験と大陸間弾道ミサイル(ICBM)発射実験を中止
 - 一、核兵器開発を實現
 - 一、威嚇しない限り核兵器を使用しない
 - 一、経済建設に集中 (北京共同)

<6>

